

## SDGs で生活や地域を見直す教育プログラム ～総合的な学習の時間「わたしたちの安朱 まもり隊」～

### 活動を行う団体

京都市立安朱小学校 <http://cms.edu.city.kyoto.jp/weblog/data/109406/>  
(京都大学地球環境学堂浅利准教授と連携して実施)

### 活動の概要

平成 29 年度から、総合的な学習の時間で「わたしたちの安朱 まもり隊」の学習を始めた。自分たちの大好きな自然や生き物を調べて、その良さを入学した 1 年生に紹介する「安朱自然生き物調査隊」に始まって、SDGs の視点から自分たちに取り組めることを見つけ、実行してきた。



その学習は、学んだ 5 年生が 6 年生になって、SDGs について伝え合う活動からスタートし、国語科での「提案文を書く」学習との連携や、マレーシア・プライ小学校との環境教育に関する交流へと発展した。

令和元年度も取組を以下のとおり、継続発展させている。

- |      |   |
|------|---|
| 発見課題 | 安朱小の素敵を見つけよう～昨年度の取組も聞いてみよう<br>「誰一人取り残さない」をキーワードに、できることを考えよう   |
| 追究課題 | 私たちの大好きな安朱の自然や生き物をどうすれば未来へ残していけるのか～SDGs 17 の視点から考えよう  |
| 提案課題 | 自分たちが考えた取組から見えてきたことを基に意見を交流し、考えや活動を広げよう<br>マレーシア プライ小学校と交流しよう～低炭素化のための行動を考え取組を行い、交流し、効果のある取組を知ろう〔テレビ会議〕 |
| 熟成課題 | 実践したことから分かったことを交流し、ポスター発表で発信しよう<br>6 年生・地域・他校の児童と 3 回ポスターセッションをし自分の考えを広げたり深めたりする<br>SDGs マップの見直しをしよう    |
| 表現課題 | 環境宣言を行い、実行しよう<br>地域で学習会（京都大学浅利准教授）を行うとともに、地域住民にポスター発表をし、共にできる活動を考え実践する。                                 |



### 優良事例のポイント

平成 29 年度に学習した 5 年生が 6 年生になっても、「ボランティアの日」を定め、互いに呼び掛け合いながらゴミ拾いを続けていた。その姿は、毎年この学習を進めてきた児童に引き継がれており、子どもたちの行動変容につながっている。

令和元年度には、地域の方が浅利准教授の授業を聞く機会を設け、学校・地域・家庭が連携した取組を進めている。